

松阪市総合計画（中間案）へのパブリックコメント 意見と回答

令和2年10月12日 第3回総合計画審議会資料

資料2

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答	担当課
1	全般			きれいにまとめられていると感じるが、難しい漢字や行政用語が多用され、市民には読みにくく、わかりにくい表現がある。また、統一した表記で記載されたい。	読みにくく、わかりにくい表現や、表記の統一など修正できるものはさせていただきます。	経営企画課
2	P19	序論	まちづくりの今後の課題	<p>P19の22行目～「持続可能なまちづくりには、現在だけでなく、10年先、20年先を見据えた長期的な視点が必要です。これらの課題を解決・改善するために、個々の施策だけでなく、多様な人々がそれぞれ活躍でき、未来技術を活用したSociety5.0※3の推進も視野に入れながらの横断的な取組が必要になります。」</p> <p>これに、「や、持続可能な開発目標のSDGs※4」の挿入を希望いたします。</p> <p>&lt;挿入後&gt;持続可能なまちづくりには、現在だけでなく、10年先、20年先を見据えた長期的な視点が必要です。これらの課題を解決・改善するために、個々の施策だけでなく、多様な人々がそれぞれ活躍でき、未来技術を活用したSociety5.0※3や、<u>持続可能な開発目標のSDGs※4</u>の推進も視野に入れながらの横断的な取組が必要になります。</p> <p>※4 国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。</p> <p>経団連「Society5.0 for SDGs」のページ、首相官邸HPの「SDGsアクションプログラム2020」の2ページなどにもありますように、「Society5.0」と「SDGs」はワンセットで語られることが多くございます。三重県が令和2年7月17日に「SDGs未来都市」に国から選定され、この2つの推進ムードが高まると思われます。そのことから、「Society5.0」だけでなく、「SDGs」も書き添えていただくことをご期待申し上げます。</p>	ご意見いただきましたように、SDGsを追記させていただきます。	経営企画課
3	P22	基本構想		「1.10年後の将来像」の12行目『「横断的な取組」をまとめました』とあるがP28を見ないと分からない。	P22の12行目に「横断的な取組」が超高齢社会対策の推進であることがわかるように追記させていただきます。	経営企画課
4	P24	基本構想	超高齢社会対策の推進	今期の総合計画から新たに記載された取組で、今後の市政運営に欠かせない観点だと思うが、その割には内容が乏しいように感じる。「超高齢社会対策検討委員会」での意見や検討内容など、もう少し記載するべきではないか。	超高齢社会対策検討委員会での意見や検討内容については、P103の【横断的な取組】超高齢社会対策の推進で委員会からの中間報告の抜粋を掲載しております。今後10月にいただく提言の内容に修正する予定でございます。また、付属資料として検討委員会からの提言全文の記載を予定しております。	経営企画課

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答	担当課
5	P24	基本構想	急激な社会変化への対応	記載内容がうまく伝わってこない。全体的に文章にまとまりがないように感じる。	記載内容の構成を再検討いたします。	経営企画課
6		基本計画		「超高齢社会に向けた視点」に記載されている取り組み内容について、各施策で検討されているのか。せっかくの意見をこの総合計画に反映させなければ意味がないのではないか。主な取組に掲載されていない施策がある。	「超高齢社会に向けた視点」は、超高齢社会対策検討委員会からの中間案を基に、各部局で検討して掲載しております。超高齢社会に向けた視点は、10年、20年先を見据えて必要な取組を記載しており、基本計画期間である令和2年度から5年度までの4年間で取り組めるものばかりではないため、主な取組に掲載されていない施策がございます。	経営企画課
7		基本計画		施策名の前に番号が必要ではないか。	基本計画内の各施策名の前の番号を追記させていただきます。	経営企画課
8	P52	3活力ある産業	③水産業の振興	「10年後のめざす姿」 「総水揚金額10%増」に基準値が必要ではないか。	基準につきましては、「総水揚金額10%増」の横に記載させていただきます。	農水振興課
9	P64	4人も地域も頑張る力	②中山間地域の振興	「主な取組」の1行目 「松阪移住交流センター」に注釈が必要ではないか。	「松阪移住交流センター」は、中山間地域の空家バンク制度や移住相談等の移住促進に関する業務を集約させ柔軟に対応することで、移住・定住者の増加に繋げることを目的に、令和2年6月飯南産業文化センター内に開設いたしました。更に認知度を高め、地域に寄り添った移住施策を進めていくためにも注釈を入れさせていただきます。 注釈：飯南産業文化センター内に設置された、中山間地域の空家バンクや移住相談等に関する総合的な相談窓口。	地域づくり連携課
10	P79	5安全・安心な生活	⑤浸水対策の充実	【抜粋】「課題」の1行目 『松阪市雨水流出抑制技術指針』について疑問があります。 「対象区域」「必要対策量」「浸透能力」「貯留施設の設計」「許容放流量」「維持管理」基準についてそれぞれ不適切ではないか。 『松阪市開発行為に関する指導要綱』 ・開発業者と行政が工事完了後の維持管理協定を結ぶべき ・開発で市管理排水路へ放流する場合は占用許可を受け適正な維持管理に努めるべき ・雨水流出抑制のため条例制定が必要では。	「松阪市雨水流出抑制技術指針」及び条例制定等についてのご意見は承りましたが、総合計画の課題欄「浸水被害の軽減にむけ、河川改修と雨水排水対策の総合的な整備を進める必要があります。」という部分の主旨を変更したいというご意見ではないと思われまますので、文章はそのままとさせていただきます。	建築開発課

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答	担当課
11	P79	5安全・安心な生活	⑤浸水対策の充実	<p>【抜粋】「課題」の1行目 4月の都市計画の変更素案（地区計画の変更）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基太川と百々川雨水幹線3号・5号との整合性について、計画に疑義がある。</li> <li>・地区計画の変更区域を横断する用水路について、現状の5号雨水幹線の位置は不適切のため最適な位置を検討しなくてよいか。</li> </ul>	<p>都市計画の変更素案（地区計画の変更）についてのご意見は承りましたが、総合計画の課題欄「浸水被害の軽減にむけ、河川改修と雨水排水対策の総合的な整備を進める必要があります。」という部分の主旨を変更したいというご意見ではないと思われまので、文章はそのままとさせていただきますが、今後も雨水排水路の整備を計画的に進めてまいりたいと考えています。</p>	下水道建設課
12	P84	6快適な生活	②資源循環型社会の推進	<p>「課題」の4行目 「外国人に対するごみ出しルールの啓発強化が必要です」について、日本人もルールを守ることが必要なので表現を変えてはどうか。</p>	<p>ごみの出し方については、各国のごみ処理状況や生活習慣の違いなどのために、特に外国人に対して啓発の必要性があることから、このような表現としておりました。しかし、ごみ出しルールを理解し、分別・リサイクルを推進していく必要があるのは外国人も日本人も同様ですので、対象を外国人のみとしていた表現を改め、「ごみ出しルールの啓発強化が必要です」に変更させていただきます。</p>	清掃政策課
13	P87	6快適な生活	④都市空間・住環境の整備	<p>【抜粋】「主な取組」の4行目 都市公園整備費のうち都市計画税の占める割合の資料を建設部土木課から資料をいただいています。 都市計画税は市街化区域内の整備のため目的税として公平に賦課されていますが、市内の地域別（中学校区別）の都市公園整備率は、地域間格差があります。（特に鎌田中学校区と嬉野中学校区が低い） 総合運動公園の整備だけでなく、整備率の低い地域に”街区公園・近隣公園等”の設置計画を策定し、格差を解消すべく取り組んでいただきたい。</p> <p>一方で、新最終処分場計画に伴い総合運動公園の縮小分を整備率の低い地域（中学校区）に割り振る手法がありますがどうでしょうか。</p> <p>また、市の重要政策について「子育て一番宣言」があります。しかし子供の成長に不可欠な「公園の整備」について、不公平感が有ります。”未来を語る会”でも鎌田中学校区在住の方が、開発が進み若い人の流入があるが子育てに必要な公園が、周辺にはないと嘆いておられました。これをどのように受け止めてみえますか。</p> <p>公園整備に関連して、都市計画・街づくりの先進事例として、名古屋近郊の〇市があります。ここでは昭和の年代から積極的に街づくりを行い、若者の定住を促進することによって相当な人口増加が図られています。子育てするのに必要なものは何か、そのヒントがあるとされます。地理的要因・周辺人口の違いがありますが、松阪市との差は何だと考えられますか。</p>	<p>現在、本市の公園整備の目標としましては、市内全域として都市公園の面積を全国水準に追いつくことを第一に考え、主な取組にあるように「松阪市総合運動公園の整備」を進めているところです。 松阪市総合運動公園整備後における都市公園整備の方向性としては、人口減少や超高齢社会を見据えた中で、地域間格差の緩和、地域防災活動への活用など、地域の実情に合わせて必要とされる都市公園について、統合や再配置の手法など研究してまいりたいと考えています。</p>	土木課

No.	頁	大項目	小項目	意見	回答	担当課
14	P89	6快適な生活	⑤道路等の整備	<p>【抜粋】「課題」の4行目 港小学校校区にある「荒木橋」について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の安全性を検討するため現在の交通量を調査してほしいと要望したがH31.2の回答では調査できないとのこと。市民目線で安全性を検討していただきたい。</li> <li>・歩行者側の防護柵の設置について、現在の基準では危険である。</li> </ul>	<p>市内には、荒木橋を含め通学路として利用されている橋梁が数多くあります。このような橋梁の中には、現在の道路構造令や防護柵設置基準等に適合していないものも多くあります。それらを改善するためには多額の費用が必要となり、直ちに実施することができない状況ですが、これらの橋梁も含めて安全で快適にご利用いただくために、計画的に取り組むべき課題と考えており、行政と市民が同じ方向を向いてまちづくりを進めることとなり、総合計画の課題欄「自動車と自転車・歩行者を分離する道路改良事業を進める必要があります。」という部分に含んでおりますので、文章はそのままとさせていただきます。</p>	建設保全課
15	P98	7市民のための市役所	③官民連携の推進	<p>施策名の横に「※」があり、下に注釈があるが、官民連携の推進の注釈ではないのではないか。</p>	<p>施策名の注釈ではないので、「※」及び下の注釈は削除させていただきます。</p>	経営企画課
16	P98	7市民のための市役所	③官民連携の推進	<p>「官民連携の推進」という施策名に違和感を感じます。国の行政機関をさす言葉として「官署（官庁）」というものがありますが、これに対し、地方公共団体やその他公の機関のことは「公署」と表現します。</p> <p>また、行政と市民等の対比が強調される「官民連携」より、幅広い捉え方ができる「公民連携」という表現の方が、市がめざす市民等との協働を体現できるものと考えます。</p>	<p>ご意見をいただきましたように、「官民連携」より「公民連携」の方が幅広い捉え方ができる表現であると考えますことから、「公民連携の推進」に施策名を変更させていただきます。</p>	経営企画課